

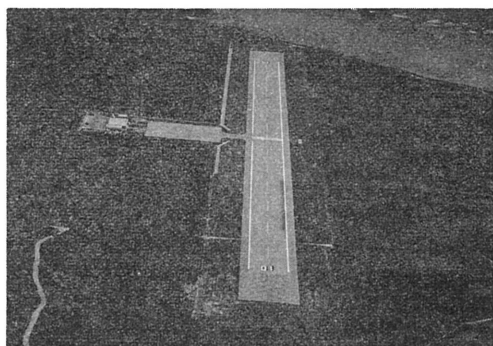
粟 国 空 港

粟国島は、那覇の北西 57km に位置し、東に沖縄本島、南に渡名喜島、慶良間諸島、西に久米島を望み、霧島火山帯に連なる扇形の島である。面積 7 km²、周囲 12km のこの島は、西端が海拔 96m の高台をなし、西海岸から南海岸にかけては絶壁で、地形は西から東になるにつれて緩やかな傾斜となる。島は珊瑚石灰土壌で水源に乏しく乾燥している。このため、天水をためる石の水瓶（トウージ）が各地に見られる。凝灰角レキ岩を島ではトウージ石と呼んでいる。また別名「ソテツ島」と呼ばれるほどソテツの多い島である。

水が乏しい島であるにもかかわらず明治 10 年には人口 3 万人と記録されている。ちなみに現在の人口は、1,086 人（昭和 55 年）で、20 年前の昭和 35 年に比べて 45.4% と激減している。

粟国空港は、島の北東端にあり、滑走路北側端は海岸に接している。第 3 次空港整備 5 年計画及び沖縄振興開発計画に基づき新規に空港設置が計画され、昭和 51 年 2 月 19 日、空港設置許可、同年 3 月 26 日第三種空港に政令指定を経て、昭和 51 年 12 月 27 日建設工事に着手した。昭和 53 年 3 月 25 日すべての工事を完成し、昭和 53 年 7 月 6 日、滑走路 800m × 25m で供用開始した。現在、那覇との間に DHC-6 型機が就航している。週 9 便で南西航空が定期路線を開設している。

ターミナルビルは、昭和 53 年 7 月 6 日供用開始したもので、建物規模は鉄筋コンクリート造平屋建、延床面積 165m² である。粟国空港管理事務所（所長：粟国



—粟国空港全景—

村長）が管理運営を行っており、テナントは航空会社 1 社、売店 1 社である。

空港は標高 11.6m にあり、総面積 91,671m²、着陸帯 920m × 60m で H 級、滑走路 800m × 25m（L A-5）の STOL 空港である。またエプロンには DHC-6 級 2 バースのスポットがある。照明施設としては REIL, VASIS, 航行援助施設としては NDB がそれぞれ設置されているほか、気象施設一式も設備されている。

海路は粟国港—那覇港（泊埠頭）間に月 9 便程度の定期船（フェリー粟国、210 トン）が運航されており、粟国島に出入する貨物はほとんどこの定期船に依存している。粟国—泊間 59.6km で所要時間 2 時間 30 分である。

（編集部）

空 港 諸 元 粟国空港

基 本 事 項	空 港 名	粟国空港				種 別	第三種空港	
	設 置 管 理 者	沖縄県				供用開始年月日	昭和 53 年 7 月 6 日	
	空 港 の 位 置	沖縄県島尻郡粟国村				標点位置：北緯 26°35'20" 東経 127°14'32"		
運 航 状 況	年間着陸回数（回）	民間機	807	その他	計	807	昭和 61 年（暦年）	
	年間旅客数（人）	国内線	13,390	国際線	計	13,390		
	年間貨物取扱量（トン）	国内線	24	国際線	計	24		
基 本 設 施	空港敷地面積（ha）	滑 走 路	誘 導 路	エ プ ロ ン		運用時間 8:00～18:00		
	9.2 ha	800m × 25m (01-19)	30m × 9m	2,000m ² STOL 2 バース				
ターミナル 諸 設 施	ターミナルコンセプト	フロントル方式						
	旅客ターミナルビル	一層方式、延床面積 165m ²						
	駐 車 施 設	1,000m ² （25 台） 村営（無料）						
ア ク セ ス	貨物取扱施設							
ア ク セ ス	島の中心部へ 2.2 Km							